

や く し ま こ く り つ こ う えん 屋久島国立公園だより

2024年8月号

発行：環境省屋久島自然保護官事務所
〒891-4311屋久島町安房2739-343
TEL:46-2992

屋久島世界遺産センター
Yakushima World Heritage Conservation Center



屋久島国立公園
Facebook



【企画展】要注意生物展を開催しています！（7月22日～9月1日）

夏も本番となり、屋久島では多種多様な生き物がイキイキとした姿を見せてくれています。そんな生き物のなかには毒がある…鋭いトゲを持つ…など注意が必要な生き物もいます。今回の企画展はそんな要注意生物がテーマです。

環境省レンジャーが屋久島で出会った要注意生物たちの特徴と生態について紹介しています。

生き物のことをよく知り、対策をすることで、安全にアウトドアを楽しむことができます。野外へ遊びに行く前にぜひお立ち寄りください！



このかたちの生きている貝は、つよいどくをもっている種類がいるよ。キレイだと思ってもさわらないでね！



ヒキガエル



ヒメネズミ

山頂ふきんや山小屋でみかけることがあるよ。たべものをねらうハンターなんだ。あなたのリュックにもぐりこんでるかも！？



キバにとてもつよいどくがあるんだ。むりにつかまったりしないでね！



マムシ

里の草むらや小川の近くでみかけるよ。地面とにているので、気づかないことも...

要注意生物展 in Yakushima

7月22日（月）▶ 9月1日（日）

会場：屋久島世界遺産センター レクチャールーム
時間：9：00～17：00 料金：無料

ストップ！ 野生動物の餌やり



野生動物には絶対に
エサをやらない・見せない

屋久島町では野生のサル等に餌をやってはいけないという町の条例があり、また国立公園内においては哺乳類や鳥類への餌やりは自然公園法という法律によって禁止されています。

餌やりゼロの島を目指しましょう！

屋久島世界遺産センターには野生動物の餌やり事例の通報が寄せられます。餌やり事例の目撃は、西部林道やヤクスギランド方面の道路上が多く、お菓子やおにぎりなどを与えていた形跡があるという報告が届いています。野生動物への餌やりには、彼らの行動を変えてしまうおそれがあることや、健康被害があることなど良い面は一つもありません。人間の持つ風邪ウイルスをはじめとする病原体が野生動物に感染する可能性もあります。



写真提供 西川高司さん



ダメ！

宮之浦岳登山道の浸食防止工事が終了しました！

宮之浦岳登山道のうち、特に翁岳～宮之浦岳間の荒廃・浸食が著しくなっており、環境省では昨年度から浸食防止工事を実施し先日、工事が無事に終了しました。

工事では荒廃・浸食を抑えるためのふとんカゴや蛇かご、木階段の設置などを行いました。引き続き、安全に登山を楽しんでいただければと思います。



木階段



土留め・浸食防止のためのふとんカゴ、蛇かご



「7千年の森3施設連絡協議会」の設置について

春牧区の「7000年の森地区」には、屋久島町屋久杉自然館（屋久島町）、屋久島環境文化研修センター（鹿児島県）、屋久島世界遺産センター（環境省）の3つの施設があり、自然散策路も整備されています。また、荒川登山口へのシャトルバスの発着場所にもなっている多くの利用者が訪れるエリアです。

しかし、同地区には案内標識や誘導標識の老朽化、地区全体で一体化した利用ができていない、自然散策路が十分に利用がされ



自然散策路

ていない、関係者間で議論を行う体制が出来ていない、地域住民にとって身近な存在になっていない、などの課題があります。

そこで、これらの課題を解決していくことや3施設の連携強化を進めることなどを目的に、7月3日に関係機関が参加し【7千年の森3施設連絡協議会】が発足しました。

今後、定期的に議論を行い、同地区の利用が活性化していくよう取り組んでいきます。



7000年の森地区の全体図

6・7月にインターンシップ生を受け入れました！

6月と7月に鹿児島大学から2名の学生がインターンにやってきました。

各会議への参加や、登山巡視、海岸巡視、山岳トイレの清掃、看板の補修、ウミガメの調査、ヤクシカ対策、施設の管理、登山者カウンターの設置や気象機器の回収、外来種の駆除、パークボランティア活動への参加など、屋久島事務所で行っている様々な業務を体験していただきました。

とてもハードな一週間、お疲れ様でした！



藻を落とし中...



山頂まで資材を運んで作業します



登山者数を調べています！